ドリーム戦　9月22日(休)（初日）　第12レース

●欠場等によりメンバーが変更になる場合があります。

全国	2026年2月1日～7月31日／最近6ヵ月
若松	2023年8月1日～2026年7月29日／最近3年

1号艇　勝率7.31

旋回力 ★★★★★
スタート力 ★★★★

5142 常住 蓮（つねずみ れん）A1 佐賀 25歳

2020年5月デビュー（126期）

福岡ウエスタンYに続き、ヤングダービーも勝率1位でドリーム1号艇を射止めた。好調・佐賀支部の勢いを駆り、1月唐津地区選でＧⅠ初優出、3月蒲郡クラシックＳＧ初出場、そして7月には児島でＧⅡ初Ｖと波に乗っている。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	7.26	52.5%	72.0%	118	0.13
若松	5.33	28.5%	52.3%	21	0.17

2号艇　勝率7.28

旋回力 ★★★★★
スタート力 ★★★★

4914 吉田 裕平（よしだ ゆうへい）A1 愛知 29歳

2015年11月デビュー（117期）

19年9月の三国大会から7年。その間にＧⅠ初優勝やＳＧ初優出を経験して大きくステップアップし、今年も1月芦屋周年に2月常滑地区選、4月住之江周年と3つのＧⅠで優出している。ラストイヤーで同世代のトップに立つ。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	7.23	50.8%	64.7%	122	0.12
若松	7.18	52.6%	55.2%	38	0.13

3号艇　勝率7.09

旋回力 ★★★★★
スタート力 ★★★★

5224 西岡 顕心（にしおか けんしん）A1 香川 25歳

2021年11月デビュー（129期）

昨年は2月の丸亀地区選でＧⅠ初優出を果たし、11月徳山周年でも優出。さらに今年もＧⅠ優出3回と奮闘中。ＳＧも浜名湖オールスターで初出場、7月のびわこオーシャンＣで初優出を果たすなど、目下ブレイク中だ。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	7.38	51.2%	70.4%	125	0.14
若松	5.87	40.0%	66.6%	15	0.15

4号艇　勝率7.06

旋回力 ★★★
スタート力 ★★★★

5088 高憧 四季（たかはた しき）A1 大阪 26歳

2019年5月デビュー（124期）

昨夏の浜名湖レディースＣでＧⅠ初出場を果たすと、女子賞金9位で年末の大村クイーンズＣに出場と飛躍の1年に。6月宮島周年では男子トップレーサーを相手に予選を突破して自信を深めた。今大会はＧⅠ初優出がノルマだ。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	6.88	51.3%	65.7%	152	0.15
若松	6.90	60.0%	80.0%	10	0.15

5号艇　勝率7.06

旋回力 ★★★★
スタート力 ★★★★

5278 田中 駿兵（たなか しゅんぺい）A1 徳島 24歳

2022年11月デビュー（131期）

デビュー4期目に5点勝率を残し、続く5期目には6点勝率をマークしてＡ級初昇級。その後は2期連続でＡ1級をキープし、前期は7点勝率に到達するなどポテンシャルの高さを証明した。ＳＧの舞台に立つ日も遠くない。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	7.16	59.2%	72.1%	140	0.14
若松	5.38	40.6%	56.2%	32	0.16

6号艇　勝率6.97

旋回力 ★★★★
スタート力 ★★★★

5132 中野 希一（なかの きいち）A1 埼玉 27歳

2020年5月デビュー（126期）

デビューして早い段階から騒がれていた才能の持ち主で、デビュー7期目にＡ級初昇級を果たした。その後はＦ禍で苦しい時期を経験したが、3期前にＡ1級初昇級を決めてから勝率は右肩上がり。勢いのまま頂点を目指す。

	勝率	2連率	3連率	出走	平均ST
全国	6.73	55.4%	69.0%	139	0.13
若松	4.65	30.7%	46.1%	26	0.18

未来のＳＧ戦線を揺るがす！！ 九州地区注目レーサー

ヤングダービーの目標は、もちろん優勝！

児島ＧⅡ優勝で地元クラシック出場権獲得

7月の児島で特別戦初優勝できたのは良かったです。優勝自体の嬉しさはもちろんだけど、これで来年の唐津クラシック出場を決められたし、オーシャンＣとか、ＳＧに出られる可能性が大きくなったことが嬉しいですね。

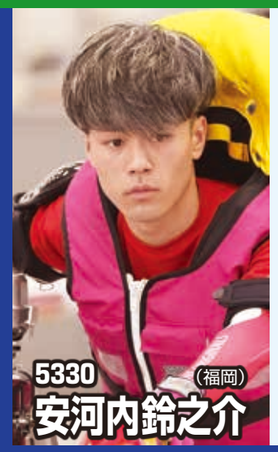
佐賀の先輩たちも凄いけれど、自分は自分

同じ佐賀支部の卒業記念チャンプということで、末永和也さんや定松勇樹さんの存在を意識してきたけど、その気持ちはデビューした頃より薄まりました。一緒に練習していても、自分はあの2人ほどの実力はない。圧倒的にターンのレベルが違うし、体格も違うので同じことはできない。それを自覚してから「自分は自分」という考えになれました。地に足がついてレースができるようになったと思います。

今は、自分と体格が似ている関浩哉さんを手本にしています。もちろんＳＧを勝ちたい気持ちに変わりはないです。末永さん、定松さんは既にＳＧ覇者ですが、自分は一歩一歩階段を上がって行ければ良いかな。

ＳＧやＧⅠで勝つために、優勝を目指す

ヤングダービーは、出るからには優勝が目標です。ＳＧやＧⅠで勝つためには、その舞台に出場し続けなければいけない。ヤングダービーはそのためのステップだし、ルートだと思う。そういう選手になれるような実力を示したいです。



ヤングダービーをＳＧへの出世レースに！

若松周年で記念クラスの仕事ぶりに刺激

今期は自分でも良い成績を残せていると感じています。その一番の要因は、やっぱり2月児島での初優勝ですね。あれでだいぶ自分に自信がついたし、レースにも自信を持って臨めるようになったと思います。

自分の中では、児島の前に若松周年を走れたことが初優勝に繋がったのかも、と思っています。追加斡旋だったので、前検を含めてたった3日間だったけど、レース自体のレベルの高さだけでなく、ＳＧ・ＧⅠ常連の方たちのレース、モーターやプロペラ調整への取り組み方の違いを目の当たりにしました。いかに自分と違うのかを感じられたことで、その後の取り組み方も変わりました。

もっと上へ、もっと大きな舞台で戦いたい

でも、今の成績に全く満足していません。若松周年を走って、もっと上の舞台で戦いたい、また走りたいという気持ちが芽生えました。

そのためにはスタート力も調整力も、旋回力も全てのレベルを上げないと話にならない。今のままでは駄目だと思います。

福岡支部所属だけど、師匠は末永和也さん

師匠は佐賀支部の末永和也さんだけど、自分は福岡支部。若松も地元の1つだし、福岡支部を背負う気持ちで走りたい。早く上の舞台に立ちたいので、今回を出世レースにできるように頑張ります。